

那須塩原市サーキュラーエコノミー元年 実はこんなことしてます！

令和5年9月に「2050 Sustainable Vision 那須塩原」を発表して一年が経過しました。環境施策3本柱の1つ「サーキュラーエコノミー」について、いくつかの取組を検証してきたところ、「効果あり」と判断できものについて、令和6年10月から事業として実施することになりました。

これを機に、市民のみなさまに「サーキュラーエコノミー」について知っていただき、ともに「資源が循環する那須塩原」への一歩を踏み出したいと思います。

1. 「羽毛布団」

水鳥の羽根である羽毛は貴重な天然資源です。これを大量に使用している羽毛布団がクリーンセンターに運び込まれると、これまでは「ごみ」として焼却処理をしていました。

このたび、かねてから羽毛布団のリサイクルに取り組まれてきた株式会社丸八真綿との連携により、クリーンセンターに持ち込まれた羽毛布団のうち、「羽毛が使える」ものを選別し、リサイクルすることが可能か実証事業をしてきました。

その結果、令和5年10月からの1年間で、763枚もの羽毛布団をリサイクルラインに乗せることができ、十分事業として成立することが認められました。

2. 「プラスチック」

クリーンセンターでは白色トレイやペットボトル以外のプラスチックごみを焼却して、そのエネルギーをもとに発電をしていました。いわゆるサーマルリサイクルです。

リバー株式会社では、より環境負荷の少ないプラスチックのマテリアルリサイクル、すなわち資源としてのリサイクルに取り組んでいます。このたび、同社那須事業所と連携し、クリーンセンターに持ち込まれた製品プラスチックのリサイクル実証を行ってまいりました。

プラスチック製品に使われるプラスチックは、その多くが同社でリサイクル可能な種類のプラスチックでできており、また、汚れが少ない状態でごみとして出されます。

今年の5月からの実証期間に 826Kg のリサイクル可能プラスチックを分類することができたことから、事業化の目処が立ちました。

那須塩原市では、上記取組を通じ、さらに「資源が循環する那須塩原」を目指すとともに、羽毛の再利用によるネイチャーポジティブ（自然環境を大切にし、生物多様性の損失を防ぐ取組）、プラスチック製品の再利用によるカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出削減）などの相乗効果も狙い、市民の皆様と一緒に「なすしおばら Life」の充実を目指していきます。